

CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau

中国四国防衛局広報誌



中国四国防衛局

Vol. 61

Sept. 2023

目次 Contents

- 1 井野防衛副大臣管内視察（令和5年7月21日～22日）
- 3 令和5年版 防衛白書刊行
- 4 第35回防衛問題セミナー（鳥取県境港市）
- 5 建設工事による完成施設（自衛隊愛媛地方協力本部）
- 6 令和5年度 優秀工事及び優秀業務 顕彰
- 7 海上自衛隊 油船の進水式
- 8 中国四国防衛局による広報活動（自衛隊記念行事）
岡山県防衛協会玉野訪問
- 9 安田女子大学教授による局職員への講義
航空自衛隊見島分屯基地視察同行記
- 10 中国四国防衛局 人事異動のご挨拶（令和5年7月14日付）
- 11 中国四国防衛局 美保防衛事務所のご紹介・職員日記



表紙について
令和5年6月4日（日）
防府航空祭ファンシードリル展示

中国四国防衛局
広報Twitter
@chushiDB_koho



CSDB

Chugoku-Shikoku Defense Bureau



Vol. 61
Sept. 2023

編集・発行
中国四国防衛局
（広報委員会編集）

〒730-0012
広島県広島市中区
上八丁堀6-30

Tel
082-223-7109

中国四国防衛局HP



編集後記
これからも中国四国防衛局の情報をお届けします！



岩国市まちづくり支援事業（愛宕山ふくろう公園）視察
【いわくに消防防災センター屋上より】

井野防衛副大臣管内視察
令和5年7月21日（金）及び22日（土）
防衛補助施設等視察（岩国市）



米海兵隊岩国航空基地ラスノック司令官と面談
（写真：米海兵隊提供）



海上自衛隊岩国航空基地US-2視察
（写真：海上自衛隊提供）



漁業用施設（藤生荷捌き施設
愛称「エフベース」）視察



防衛白書は、昭和45年に初めて刊行され、昭和51年以降毎年刊行しているものです。

防衛白書刊行の目的は、できる限り多くの皆様に、できる限り平易な形で、わが国の防衛の現状とその課題及びその取組について周知を図ることです。

令和5年版防衛白書は、戦略三文書の策定後、初めて刊行される白書であり、三文書策定の経緯や概要を記述しています。

また、わが国を取り巻く安全保障環境や、防衛省・自衛隊の取組について、分かりやすくご理解いただけるよう、令和4年度の事象を中心にまとめています。

表紙には、防衛省・自衛隊が「真に国民を守り抜ける体制を作り上げる」との決意を表現する観点から、国民の命と暮らしを守り抜く防衛力の中核である自衛隊員が題字をしたためました。

巻頭特集では、平成25年に初めて国家安全保障戦略を策定して以降の安全保障環境や、防衛省・自衛隊の取組についての約10年間の変化、さらに、昨年12月に策定した国家防衛戦略について解説しています。



これに加え、三文書を踏まえた取組やこの1年間の安全保障環境の変化などを踏まえ、各種トピックについてもコラムで解説し、内容を充実させています。



令和5年6月26日、鳥取県境港市の境港市民交流センター みなとテラスにおいて、当局主催による防衛問題セミナーを開催しました。

本セミナーは、防衛政策全般に対する国民の皆様の理解促進のための施策として、平成19年から地方防衛局主催で開催しているものです。境港市での開催は初めてで、当日は約150名の方々が来場されました。



伊藤 晋哉氏
(前防衛省整備計画局防衛計画課長)
(現沖縄防衛局長)



落水田 実氏
(第3輸送航空隊司令兼ねて美保基地司令)

今回は「新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画」をテーマとして、第1部では防衛省整備計画局防衛計画課長 伊藤 晋哉氏より「新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画」について、第2部では第3輸送航空隊司令兼ねて美保基地司令 落水田 実氏より「航空自衛隊美保基地の役割」について、講演いただきました。



本セミナーに来場された方々からは、「防衛力強化の内容がよく理解できた」「防衛計画、防衛の課題について理解できた」「美保基地の重要性を理解することができた」などの多くの感想が寄せられました。



建設工事による完成施設（自衛隊愛媛地方協力本部）

調達部は、中国地区5県及び四国地区4県に所在する自衛隊駐屯地・基地等や在日米軍基地における施設の建設工事などの業務を担っています。
今回の完成施設は、愛媛県松山市に新設した自衛隊愛媛地方協力本部です。



この自衛隊愛媛地方協力本部は、自衛官の募集や再就職の援護に加え、愛媛県の防衛と災害対応のための役割も担っています。具体的には、地域の防衛に関する情報の収集と分析、地域住民の方々との連携と調整などです。

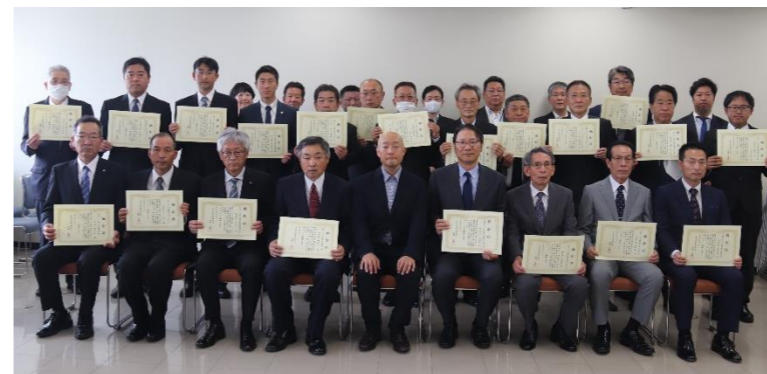


自衛隊愛媛地方協力本部庁舎は、地元の自治体や関係機関と協力して、地域の安全と安心を守るために活動し、地域の人々の生活や安全にも寄与するための重要な施設です。



令和5年度 優秀工事及び優秀業務 調達部長顕彰

令和5年7月3日、「令和5年度優秀工事及び優秀業務」の顕彰状贈呈式を開催しました。本年度の顕彰者は、優秀工事・技術者は15社・6名、優秀業務・技術者は4社・4名で武隈前調達部長からそれぞれに顕彰状を贈呈しました。



令和5年度優秀工事等顕彰者記念撮影



令和5年度優秀業務等顕彰者記念撮影

優秀工事

高尾山（3補）法面整備工事 一畑工業 株式会社	山陽（3）外柵整備工事（その2） 株式会社 イノウエ	米子（3補）保管庫新設設備工事 岡田電工 株式会社
高尾山（2）局舎新設等建築工事 境港土建 株式会社	善通寺（2）隊舎等改修機械 その他工事 株式会社 三共冷熱	小松島（3）整備場新設建築 その他工事 株式会社 島谷建設
山陽（3）外柵整備工事（その3） 嶋田工業 株式会社	山陽（2）局舎等新設建築工事 大成建設 株式会社	美保（1）燃料配管整備等機械 その他工事 株式会社 東海テック
善通寺（3補）食厨改修機械 その他工事 徳寿工業 株式会社	岩国飛行場（2）飛行場雨水排水 （1502）整備工事（1工区） 長畑建設工業 株式会社	下関（3）宿舎外壁等改修建築工事 日立建設 株式会社
山陽（3）外柵整備工事（その1） 松尾建設 株式会社	岩国飛行場（2）飛行場雨水排水 （1502）整備工事（2工区） ユタカ工業・ナルキ建設共同企業体	山陽（2）局舎等新設電気 その他工事 株式会社 四電工 広島営業所

優秀業務

海田市（3）宿舎新設建築設計 株式会社 泉創建エンジニアリング	美保（2）訓練施設新設等建築その他設計 株式会社 中林建築設計事務所
山陽（3）防衛施設整備監理業務 パシフィックコンサルタンツ 株式会社 中国支社	山陽（2）局舎新設土木工事監理業務 広建コンサルタンツ 株式会社

※記載の順番は50音順です。また、同様に優秀技術者に対しても顕彰状を贈呈しています。

本贈呈式は令和4年度に完成した工事・業務の中から、成績評定や現場における創意工夫並びに高い技術力等を総合的に評価し、他の模範とするに相応しい工事・業務を選定しその受注者等を顕彰するというものです。

今回で14回目を迎えることができました。

なお、顕彰を受けると総合評価方式で加点の対象となります。



海上自衛隊 油船 進水式

令和5年5月19日、広島県福山市に所在する「本瓦造船株式会社第2工場」において、3年度計画船「Y048（油船）（490トン型）」の進水式が行われました。

Y048（油船）は、艦艇用燃料を輸送する船であり、各地方隊に属する警備隊において、部隊の後方支援に従事しています。

当日は雨模様でしたが式典直前に回復、本式典には、本瓦造船株式会社の本瓦誠社長、落合海上自衛隊横須賀警備隊副長、矢田中国四国防衛局装備課長のほか関係者が出席しました。

今後、「Y048（油船）」は艤装及び海上公試を行ったのち、令和5年10月に海上自衛隊横須賀警備隊へ引き渡される予定です。



Y048（油船）



安全祈願

令和5年7月7日、広島県呉市に所在する「警固屋船渠株式会社」において、3年度計画船「YG210（油船）（270トン型）」の進水式が行われました。

YG210（油船）は、航空燃料を輸送する船であり、各地方隊に属する警備隊において、部隊の後方支援に従事しています。

本式典には、警固屋船渠株式会社の久留島匡繕社長、中国四国防衛局の深和前総務部長、尾崎防衛補佐官、大湊警備隊の菅野副長ほか関係者が出席しました。

今後、艤装及び海上公試を経て、令和5年10月に海上自衛隊大湊警備隊へ引き渡される予定です。



安全祈願



YG210（油船）



中国四国防衛局による広報活動（自衛隊記念行事）

中国四国防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動をより広く国民の皆様を紹介するため、当局管内の基地・駐屯地の記念行事等において、広報ブースを設置しています。

広報ブースでは、防衛白書ダイジェスト版、広報誌等を来場した方々に配布しています。

今後も、広報ブースを設置してまいりますので、ご来場の際にはお気軽にお立ち寄りください。



航空自衛隊 美保基地航空祭（5月28日）での広報ブースの様子



航空自衛隊 防府北基地航空祭（6月4日）での広報ブースの様子



岡山県防衛協会玉野訪問

7月23日（日）岡山県防衛協会会員10名の方が玉野市に在籍する三菱重エマタイムシステムズ株式会社（以下MTS）及び当該造船所にて修理中の護衛艦「さざなみ」の視察を行いました。

MTSは海上自衛隊の艦船や官公庁船の建造及び保守整備を行っています。特にMTSは海上自衛隊護衛艦を建造できる能力を持つ安全保障上重要な防衛産業基盤の一つです。

今回の広報では、海上自衛隊艦船の建造基盤及び維持整備基盤の重要性をご理解いただくとともに、修理中の「さざなみ」の現状や、護衛艦としての任務、搭載装備品等について理解を深めて頂きました。参加者からも「修理中の艦船を見学したのは初めてであり大変有意義な研修でした。」とのお言葉を頂きました。

玉野防衛事務所においては、今後とも、一人一人が広報担当者との認識の下、自衛隊協力団体や関係する地元企業の皆様に対し自衛隊の活動に関する正しい知識と理解を深める活動に取り組むとともに、取得する装備品の適正な「監督・検査」業務に邁進して参ります。



護衛艦「さざなみ」広報係による概要説明



護衛艦「さざなみ」の上甲板にて（参加者）



安田女子大学竹本教授による局職員への講義



安田女子大学 竹本教授



中国四国防衛局 今給黎前局長



会場の様子（海技試験場）

中国四国防衛局は、6月28日、「アカデミアとの連携プロジェクト」の一環として安田女子大学現代ビジネス学部公共経営学科教授竹本知行先生をお招きし、職員向けに「大村益次郎ー未完の軍政改革ー」と題した講義・ディスカッションをして頂きました。

本講義は、「ロシアによるウクライナ侵攻、中国の軍事力拡大、北朝鮮のミサイル発射など我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、私たち中国四国防衛局にとっても直接的に関係してくる事案が増大することが予想され、直接又は間接的に地域住民や多くの利害関係者と接する機会が多い中国四国防衛局職員は、地域の実情や歴史を正しく理解しなくては、世の中のトレンドや価値観の変化が激しい昨今、これに立ち向かうことはできない」ことを企画の趣旨としました。

若手職員を中心に、中国四国防衛局からは今給黎前局長、尾崎防衛補佐官をはじめとする約40名の参加者があり、自衛隊広島地方協力本部からも柿内本部長をはじめとする約10名の参加者がありました。参加者からは、「軍組織のあり方、根本的な考え方について学ぶことが出来た」「近代史を学ぶ際に、なぜそうなったのか、どのような経緯があったのかを今後は意識しようと感じた」などの声が聞かれました。

当局では今後もアカデミア領域等の方を招いた講義の場を設け、唯一の答えがない課題等について考えることを通じ、防衛施設と周辺の方々を繋ぐ役割を担う防衛局の業務に精通した、広い視野をもつ職員の育成に努めることとしております。



航空自衛隊見島分屯基地視察同行記（令和5年6月23日）

令和5年6月23日（金）、中国四国防衛局長による見島分屯基地視察に同行しました。

航空自衛隊防府北基地より輸送ヘリコプター（CH-47）にて見島へ上陸し、見島分屯基地司令出迎えのもと、島内・施設の説明を受けました。

見島は、山口県萩の沖合約44kmにある有人離島で、日本海及び朝鮮半島方向を24時間絶え間なく警戒監視するレーダー基地であり、我が国防衛の最前線として独特の緊張感が漂っていました。

また、離島であることから医療施設・医療従事者が不足しているため、緊急時は見島分屯基地がヘリコプターを用い患者の輸送を行う等、部隊が島民の安心・安全の拠り所となっていました。

今回の同行にて、見島分屯基地は、国境離島に在るがゆえの物流上の制約や、安定的な水源確保が困難であること等、厳しい環境の中で我が国の防衛の一翼を担っていることを強く実感しました。この貴重な経験・刺激を忘れず日々の業務に邁進し、国民の皆様の国防に対する理解を得る一助とならねばと意気込み帰局しました。

（企画部施設管理課係員）



中国四国防衛局 人事異動のご挨拶（令和5年7月14日付）



にしがた たかし
（中国四国防衛局長 西方 孝）

7月14日付けで中国四国防衛局長を拝命しました西方です。重責に身の引き締まる思いです。

当局管内には、陸上、海上及び航空の3自衛隊の重要な施設が所在しますとともに、在日米軍の施設もあります。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増すなか、これら施設を安定的に使用できるようにしておくことが必要です。そのためにも、地域の自治体や住民の方々の一層の御理解、御協力がいただけるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

7月14日付けで総務部長を拝命しました諏訪です。私にとっては初めての中国四国防衛局での勤務となります。

当局の管内には重要な防衛施設が多数所在しておりますが、それらの施設が安定的な運用ができるよう、関係自治体や地元の皆様の信頼が得られ、さらに関係が発展できますよう全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



すわ まさし
（総務部長 諏訪 匡志）

7月14日付けで企画部長を拝命しました柴山です。

中国四国地方の勤務は初めてではありますが、当局管内9県のできるだけ多くの方々と関わりを持ち、防衛行政や自衛隊・在日米軍の活動等につきまして、関係地方公共団体や住民の皆様から更なる御理解、御協力を得られますよう、まさに、地元の皆様と管内に所在する自衛隊・在日米軍との「懸け橋」として、誠心誠意努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



しばやま けんいち
（企画部長 柴山 憲一）

7月14日付けで調達部長を拝命しました小長です。

今般策定の3文書において、防衛力の抜本的強化や防衛省は気候変動へも的確に対応していく旨等が掲げられました。管内には重要な防衛施設や防衛生産基盤が多数所在しており、所掌の施設の強靱化や装備の取得等、職員チーム一丸となり、関係する皆様、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら進めて参る所存です。

当局での勤務は初めてですので、地元の歴史や名所、特産にも沢山触れていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。



こなが だいすけ
（調達部長 小長 大輔）



中国四国防衛局 美保防衛事務所のご紹介

美保防衛事務所は、鳥取県の西部、白砂青松の地で知られる弓ヶ浜半島の基部に位置し、管轄は、東は鳥取県（4市14町1村）、西は島根県（8市10町1村）の東西に約280kmと横に長い区域です。主要業務は、本局各課の業務に係る地元等との連絡調整、調査、資料収集業務等を行っています。

管内の防衛施設は、航空自衛隊美保基地（境港市、米子市）、防衛省情報本部美保通信所（境港市）、陸上自衛隊米子駐屯地（米子市）、陸上自衛隊日光演習場（伯耆町、江府町）、陸上自衛隊美保分屯地（境港市）、航空自衛隊高尾山分屯基地（松江市）、陸上自衛隊出雲駐屯地（出雲市）が所在しています。

■近傍の名所の一つ「米子城跡」（鳥取県）
城跡からの眺望は格別です。



■近傍の名所の一つ「出雲大社」（島根県）
神在月には、全国の神様が集われます。



■鳥取県の名物の一つ、ベニズワイガニ。



■島根県の名物の一つ、出雲そば。



中国四国防衛局 職員日記（美保防衛事務所）

私は平成21年3月31日に農林水産省を退職し、翌日から防衛省に採用されました。

農林水産省当時は、コメの消費拡大のため、米粉パンの講習会の企画・実演などを行っていましたが、一変、防衛省に採用され、中国四国防衛局企画部に配属になり、早14年がすぎ、本年4月から美保防衛事務所に赴任しました。

事務所では様々な業務に奮闘中で、今は部隊等から建設、解体等により発生した鉄くず等の管理に取り組んでおり、所長はじめ総勢3名で、鉄くず等周辺の草刈作業を行っています。

草刈作業は真夏の炎天下の中、熱中症や事故等に注意しながら行うので、体重がやや減のダイエット効果もある作業です。食事は単身赴任のため自炊するよう努めていますが、どうしてもコンビニ弁当になりがちで、食事バランスもズタズタです。

趣味はバイクと海釣り、何れもホコリを被った状態ですが、今年中に愛機であるカワサキのバイク、ゼファー1100を復活したいと思います。



（美保防衛事務所 藤田 壮城）